

テーマは「きになる」住まいの“きになる”について考えます。

住まいのきになる通信 NO. 1

## 平成27年1月の「きになる通信」

### 子育て費用贈与非課税 — 来年度導入 1000万円で調整



政府は、祖父母や親が20歳以上の孫や子に結婚や出産、子育ての費用を贈与する場合、贈与税を非課税とする制度を2015年度に新設する方針です。

非課税枠は孫や子1人当たり1000万円を軸に調整しています。

(2014年12月11日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 車・住宅 手軽に疑似体験 — 1000円ゴーグル装置で

#### 博報堂が販促支援 スマホを活用



ゲームや映画などに使われる「仮想現実（VR）」が商品選びの新たな手段になりそうです。博報堂は、月内にもゴーグル型の格安VR装置とスマートフォンを使った販促支援を始めます。車の運転席からの視野やマンションの室内の雰囲気など、実際に出向かないとわからない感覚を、時や場所を選ばず疑似体験できます。

(2014年12月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 住宅ローン減税 1年半延長へ 贈与非課税枠も拡充



政府・与党は、2017年末に期限が切れる住宅ローン減税を2019年6月末まで1年半延長する方針を固めました。最大で年50万円を所得税から控除する現在の仕組みをそのまま適用する見通しです。

(2014年12月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「きになる」住まいの“きになる”について考えます。

住まいのきになる通信 NO. 2

## 給湯器の音で不眠 — 「エコキュート」巡り指摘 消費者事故調



消費者安全調査委員会は、ヒートポンプ式給湯器「エコキュート」から出る音が原因で不眠になったとする調査申し出について、「運転音が健康症状の発生に関与していると考えられる」などとする報告書を公表しました。調査対象は健康被害を訴える19件。

業界団体の手引きでは、寝室や窓から極力距離を取って設置するよう促しています。

(2014年12月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

## 海外で評価高い和室 — 和の住まいリレーシンポ



大阪府地域産材活用フォーラム主催で「和の住まい推進リレーシンポジウム in おおさか」を開催。国交省・経産省・林野庁が国サイドの施策を紹介。和室をJAPANブランドだと指摘し、「ユネスコから無形文化遺産に指定された和食と同様に、海外では高い評価を受けている。その評価を逆輸入して日本でもう一度和室を流行させたい」と話しました。

(2014年12月20日 東洋木材新聞記事から抜粋)

## 住宅ローン見直すなら今 60歳時点の残高抑える



日本銀行の強力な金融緩和と金融機関の競争激化を背景に、住宅ローン金利が固定型・変動型ともに空前の低水準にあります。

借り換えで、老後の大きな負担となりかねないローン負担を減らす「最後の好機」との声も出ています。

(2014年12月24日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「きになる」住まいの“きになる”について考えます。

住まいのきになる通信 NO. 3

家計負担 震災前比30%増 関電再値上げ 新電力へ流出加速

### リストラには消極的



関西電力が再値上げを申請したことで、関西圏の家庭や企業の負担は一段と増します。4月に家庭向け電気料金は平均10%程度上がる見通しで、東日本大震災前と比べると上げ幅は30%に達します。

(2014年12月25日 日本経済新聞記事から抜粋)